

## 開会挨拶

### 全国エリアマネジメントネットワークシンポジウム 2018 in Hiroshima 実行委員長

下村 純一 氏

ただ今ご紹介いただきました下村です。皆様ようこそ広島へいらっしゃいました。全国エリアマネジメントネットワークシンポジウム 2018 イン広島の開催にあたり実行委員会を代表してご挨拶を申し上げます。1980 年代より新しいまちづくりの手法としてエリアマネジメントという考え方が欧米で広まってまいりました。国内でもすでに多くの組織や団体が生まれ、エリアマネジメントを実践しています。そのように全国各地で活動をされている皆さんの交流や、エリアマネジメントの普及啓蒙啓発、政策提言を目的に設立された全国エリアマネジメントネットワークのシンポジウムの開催地としてここ広島を選んでくださり、今日全国からこのように多くの方々をお迎えすることができ大変嬉しく思っております。定員を大きく上回る 600 名を超える方々にお越しいただいていると聞いております。

さて、開催地であります広島の都心部では、広島駅周辺地区と紙屋町八丁堀地区の二つの核による楕円形の都心づくりをすすめることが課題となっております。両地区ではそれぞれ都市再生の動きが加速しており、こうした動きを個別の開発に止めることなく、エリアマネジメントによって都心全体の価値向上を図ることが求められております。

エリアマネジメントを通じてまちづくりに取り組むこと。私たち実行委員会の中にもそうした両地区のエリアマネジメントを志す団体が含まれており、それぞれが活動の方向性を模索しているのが今の現状でございます。

公共空間の活用やインバウンドへの対応、防災防犯、人材コミュニティの育成など目の前に山積みするまちづくりの課題を解決していくために、私たちは、この度のシンポジウムが、それぞれの団体とともに県市経済団体がタッグを組み、一緒に歩いていく絶好のチャンスだと捉えております。

今日のプログラムは広島のエリアエリアマネジメントの現在に重心を置きながらも、これまで、若しくはこれからエリアマネジメントに取り組もうとされている皆さんにも新しい学びがあるよう、2つのクロストークを準備しました。二部の共通項は人であり、彼ら彼女らにまつわるストーリーです。皆さんが置かれている状況と重ね合わせながら耳を傾けていただければと思います。

そして、今回のシンポジウムが広島を始め中国四国地方、さらには全国各地でエリアマネジメントに取り組む団体が都市地域の課題を共有し、横断的に連携しながら本格的に活動していくため、次の一歩を踏み出すための機会となればと願っております。

最後に全国エリアマネジメントネットワークをはじめ各関係各位のご尽力に敬意と感謝を表し挨拶とさせていただきます。本日はよろしくようお願い申し上げます。